

女性が政治家めざすと…

県議ら3人 春日で体験話すシンポ

シンポジウムで語り合った(右から)パ
リテ・アカデミーの三浦まり共同代表、一ノ
瀬裕子・佐賀県議、金子加代・飯塚市議、
後藤香織・福岡県議。10日、春日市



成果

親子傍聴席を実現

苦勞

私的連絡や「セクハラ」

男性ばかりの地方議会に女性が入る
と、どんな変化が起きるのか。福岡、
佐賀の女性議員3人が、政治家を目指
す女性らに体験を話すシンポジウムが
10日、春日市であった。3人も現在
2期目で、立候補前や選挙での苦勞を

語りつつ、「親子傍聴席」ができた
「生理の貧困」対策が進んだりといっ
た成果を紹介した。

「新顔の時は」駅頭に立つと、よく
男性から「邪魔だ」などからまれた」
選挙にまつわる苦い思い出を話した

のほ、後藤香織・福岡県議。政治家を
目指して様々な政治塾に顔を出した時
も、「夜飲み会にいけないから無理だ
ろう」と言われたり、子育てやジェン
ダー問題の課題を語ると「それより経
済、外交でしょう」と否定されたりし
たという。

一ノ瀬裕子・佐賀県議は、選挙に詳
しいと紹介された男性から「2人で話
したい」など私的なメッセージが来る
ようになって連絡を絶った体験を語っ
た。

同僚議員から「セーラー服を着てし
ゃべれば(動画の)再生数上がる」
と言われた金子加代・飯塚市議。後に
謝罪を受けたが、他にも「DVって
何、とまじめな顔で聞かれた」などと
男性議員たちの無知を嘆いた。

議員の仕事をする「だいたい味」も語
られた。

一ノ瀬県議は「議会で生理の貧困に
ついて取り上げ、各学校や公共施設の
トイレの個室に生理用品を置くことが
決まった。女性アスリートの診療窓口
も態勢が整った」という。

後藤県議は「赤ちゃん連れの友人が
傍聴に来たことがきっかけで、防音の
親子傍聴席ができた」と紹介した。

シンポは2018年から若手女性の
リーダーシップ養成に取り組んでいる
一般社団法人パリテ・アカデミーの主
催。選挙の実践的なトレーニングを行
う合宿の企画で一般公開もされ、合宿
の参加者23人を含め100人余りが聴
き入った。

合宿は今回が6期目で、修了生から
3期生の後藤県議を含め23人の議員が
誕生した。これまで東京や関西で開催
し、九州は初めて。受講生は半数以上
が九州から集まった。

パリテ共同代表の三浦まり・上智大
教授は「修了生は互いの選挙を応援す
るので、地域に仲間がいると力にな
る」という。

(瀧沢真子)